

授業科目                      生理学

【担当教員名】  生駒 俊和		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○			
【一般目標：G10】 人体がいかに巧妙な仕組みで働いているかを理解し、生理学の基礎的な知識を習得する。 生理学的用語を理解し、生体の生命現象と活動の仕組みを習得する。					
【学習目標】 1. 生体の恒常性について説明する。 2. 体液と循環機能について説明する。 3. 呼吸機能について説明する。 4. 消化と吸収について説明する。 5. 代謝および栄養について説明する。 6. 尿の生成と排泄について説明する。 7. 体温の調節について説明する。 8. 内分泌臓器とホルモンの作用について説明する。 9. 神経組織とシナプスの機能について説明する。 10. 末梢神経と中枢神経の機能について説明する。 11. 感覚系の機能について説明する。 12. 筋組織の生理学的特徴について説明する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	生理学について、体液			1	講義
2	血液、細胞の機能			2	講義
3	循環器系 1 心臓の機能			2	講義
4	循環器系 2 血管の機能			2	講義
5	呼吸器系 1 呼吸器の作用			3	講義
6	呼吸器系 2 呼吸調節			6	講義
7	消化と吸収 1 消化			4	講義
8	消化と吸収 2 吸収			4	講義
9	代謝および栄養 体温とその調節			5, 7	講義
10	尿の生成と排泄 1 腎小体の機能			6	講義
11	尿の生成と排泄 2 尿細管の機能			6	講義
12	内分泌 1 内分泌器官と調節			8	講義
13	内分泌 2 内分泌臓器とホルモンの作用 1			8	講義
14	内分泌 3 内分泌臓器とホルモンの作用 2			8	講義
15	神経生理の基礎、神経組織について			9	講義
16	神経組織の機能とシナプスの機能			9	講義
17	末梢神経系			10	講義
18	中枢神経 1			10	講義
19	中枢神経 2			10	講義
20	感覚機能			11	講義
21	内臓感覚と特殊感覚 1			11	講義
22	特殊感覚 2			11	講義
23	筋組織の生理学的特徴			12	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座・生理学 (第2版)	佐藤 健次、北村 清吉	医歯薬出版	2011・2,730円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 講義中に実施する小試験 (30%) 小試験は追試験、再試験の評価にも適用する。講義欠席の場合は小試験は0点とする。 定期試験 (70%)			【履修上の留意点】 医療技術者を目指す人にとっては、重要な基礎科目である。予習、復習しっかりと行ってください。特に復習が大切で不明な点は素早く解決することが大切です。質問は歓迎します。今後の専門科目の授業に役立つ内容です。		